

2024 年 10 月 30 日

スズキ株式会社

トヨタ自動車株式会社

スズキとトヨタ、電動車領域で協業を深化 - スズキ開発のバッテリーEV をトヨタに OEM 供給 -

スズキ株式会社（以下、スズキ）とトヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）は、両社の協業を発展させ、スズキが開発する SUV タイプのバッテリーEV(BEV)を、トヨタに OEM 供給することを決定しました。新モデルは、インドのスズキ・モーター・グジャラート社にて、2025 年春から生産開始予定です。

スズキとトヨタは、共に遠州（現静岡県西部）を発祥の地とし、織機から自動車へと時代に合わせて新たな事業に挑戦してきたルーツを持ちます。2016 年に、スズキの鈴木修会長（現相談役）とトヨタの豊田章男社長（現会長）により業務提携の検討を開始して以来、人々に移動の自由や楽しさを提供すべく、両社で様々な協業を進めてきました。両社の協業分野は、生産領域や OEM 相互供給、電動車の普及など多岐にわたります。また、協業車両の導入地域は、日本、インド、欧州、アフリカ、中東に拡大しています。

今回の協業は、両社の OEM 供給における初めての BEV となります。世界各国で順次販売を開始し、成長著しい SUV の市場においてもお客様に BEV の選択肢を提供し、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みを一層進めてまいります。

新モデルは、必要十分な航続距離と快適なキャビンを両立した BEV 専用設計モデルであり、BEV らしいキビキビとしたシャープな走りが特長の SUV です。悪路走破性のみならず、よりパワフルな走りを提供する 4WD システムも設定しました。

採用される BEV ユニットとプラットフォームは、スズキ、トヨタ、ダイハツ工業株式会社の 3 社がそれぞれの強みを活かして共同開発しました。

スズキ 鈴木俊宏社長のコメント

「今回、スズキ初の BEV をトヨタへグローバルに OEM 供給いたします。こうして両社の協業関係がさらに深化したことを大変うれしく思います。これからもトヨタとは互いに切磋琢磨する競争者であり続けながら、マルチパスウェイでのカーボンニュートラル社会の実現など、社会課題の解決に向けて協業を深めてまいります。」

トヨタ 佐藤恒治社長のコメント

「今回、共同開発した BEV ユニットとプラットフォームを活用して、電動車分野で協業の新たな一步を踏み出し、カーボンニュートラル社会に貢献する多様な選択肢を世界各地のお客様にお届けしてまいります。今後とも、マルチパスウェイの考え方を軸に、お互いの強みを学び合い、競い合いながら、ともに汗を流してまいりたいと思います。」

以上